

## ■ あなたの提案実現事業について

### 1 平成20年度 あなたの提案実現事業について

#### (1) 事業内容

「地域でのたすけあい活動」や「健康づくりを進める活動」など、区民の皆さんが地域の中で健康で安心して暮らしていくことにつながる取組みとして、地域に根ざした事業や活動の提案を募集します。

なお、活動にあたっては、地域の「スイッチON磯子」地区推進委員会と連携をとりながら進めていただきます。

#### (2) 平成20年度の実施スケジュール

- ア 事業の提案を募集(事業の提案者と実施団体は同一とします) (締め切り:6月2日)
- イ 「あなたの提案実現事業選定委員会」(以下「選定委員会」という。)への、提案団体による事業説明と、選定委員会による審査と対象事業の決定 (審査日:7月14日)
- ウ 助成金の交付 (8月下旬)
- エ 事業の報告 (3月下旬)

#### (3) 平成20年度の助成金額及び交付方法等

##### ア 助成金額

総計 80 万円

新規事業は上限 20 万円、昨年度から継続可となった事業は上限 10 万円、継続は原則として 1 年まで。

##### イ 交付方法

申請団体によるプレゼンテーションをうけた後、選定委員会が、助成対象事業及びその事業に対する助成金額を決定します。

##### ウ 選定委員会について

- (ア) 選定委員会の要綱に基づき組織します。
- (イ) 審査基準に基づき提案事業及び助成額を審査します。

##### エ 審査と選定

審査基準に基づき評点をつけて、事業を選定します。

## 平成19年度あなたの提案実現事業 事業報告

### <申請団体一覧>

	事業名	実施団体	助成金額(執行額)	備考
1	障害児・者のノーマライゼーション、文化芸術活動への支援	NPO法人 地域コミュニティネットワーク・ヨコハマ	200,000円	新規
2	マナーの街、感じさせる街づくり	街の魅力創造研究会	100,000円	継続
3	防災スキルアップ講座	さあどうする！防災	154,000円	新規
4	思い出語りをききます隊	いそご回想法倶楽部	200,000円	新規
5	日本食で異文化交流	倶楽部V	62,000円	継続
6	手作りおもちゃ講座	キラキラ	200,000円	新規

### 1 障害児・者のノーマライゼーション、文化芸術活動への支援 (実施団体：NPO法人 地域コミュニティネットワーク・ヨコハマ)

目的	家や施設内に引きこもりがちな障害児・者を対象に、区内の文化芸術団体や障害者施設と連携して、創作や音楽活動に参加したり、茶道などの伝統文化に気楽に触れられる機会を創りだし、文化芸術活動を通じて地域の人たちとの交流やノーマライゼーション促進を支援する。
内容	<p>1 等身大肖像画教室開催 (年3回) 会場：いそご地域活動ホームいぶき 参加者計：30名</p> <p>2 「いぶきまつり」に障害児・者自らの作品を出品展示</p> <p>3 等身大の肖像画展 (作品展示会) 会場：磯子区役所1階区民ホール 来場者：約500名</p> <p>4 文化芸術活動交流会 (年3回) 会場：磯子区民文化センター・地域活動ホーム「いぶき」 参加者計：約150名</p>
効果	区役所ホールでの等身大肖像画展では、来場者から「力強いタッチに感動した。」「元気をもらった。」と好評を博した。支援事業を通して、障害者の自立にとって最も大事な障害者自身の「自信」と文化芸術活動に対する関心を喚起すると共に地域住民との交流によってノーマライゼーション促進への一定の効果があつた。

2 マナーの街、感じさせる街づくり (実施団体：街の魅力創造研究会)

<p>目的</p>	<p>守り続けたいマナーや時代の変化と共に必要となる新しいマナー、さらには地域固有のマナーについて分析し、世代を超えて共感できるマナーを明らかにするとともに、地域でマナーを考え、街の魅力づくりを推進すること。</p>
<p>内容</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 マナーに関するアンケート実施 (3,300 件集約)</li> <li>2 アンケートを「磯子のマナー80」としてまとめ、区政 80 周年記念イベントにて発表</li> <li>3 リーフレットを地域に配布し P R (3,000 部)</li> <li>4 上中里団地自治会餅つき大会にて、ゴミ捨てに関するマナーの呼びかけ及び意見交換 (参加者約 800 名)</li> <li>5 美化活動の推進：根岸橋通商店街にて清掃活動 2 回 (参加者計約 20 名)</li> <li>6 子育ての会でマナー勉強会を実施 (年 3 回) 会場：滝頭地域ケアプラザ・夢たま 参加者計 135 名</li> </ol>
<p>効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「磯子マナー80」を P R しマナーへの関心を高めるきっかけ作りができた。</li> <li>・地域の自治会や団体との協働活動を通じて、それぞれに必要なマナーを考える機会を提供することができた。</li> </ul>

3 防災スキルアップ講座 (実施団体：さあどうする！防災)

<p>目的</p>	<p>地域に住民一人ひとりが防災に対する関心を深めることを通じて、地域のつながりについて考えるとともに、災害被害減少に寄与すること。</p>
<p>内容</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 「気象庁緊急地震速報を学ぶ」 講師：横浜地方気象台職員 会場：洋光台地域ケアプラザ 参加者 25 名</li> <li>2 「A E D と心肺蘇生法 of 心肺蘇生法体験」 講師：磯子消防署予防課 会場：屏風ヶ浦地域ケアプラザ 参加者 20 名</li> <li>3 「手軽にできる住宅耐震補強について考える」 講師：磯子区災害ボランティアネットワーク代表・一級建築士 会場：屏風ヶ浦地域ケアプラザ 参加者 27 名</li> <li>4 「災害直後の情報伝達」 講師：横浜市アマチュア無線非常通信協力会 磯子区支部 会場：洋光台地域ケアプラザ 参加者 16 名</li> </ol>
<p>効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・洋光台及び屏風ヶ浦地域ケアプラザとの連携が進み、屏風ヶ浦ケアプラザからは、本事業以外の防災講座の依頼を受けた。また、洋光台地域ケアプラザでは、受講者の中から活動に参加したいという人もいた。</li> <li>・洋光台、屏風ヶ浦、森町、汐見台地域町内会等とつながりができ、洋光台連合自治会からは講座の要望がくるなど、一歩一歩ではあるが地域に浸透し波及してきていると思われる。</li> </ul>

4 思い出語りをききます隊 (実施団体：いそご回想法倶楽部)

<p>目的</p>	<p>過去の思い出を語る「回想法」を通して、高齢者等の生きる力を引き出し、一人ひとりが自分らしく生きることを支援する。また、地域の人と人とのつながりづくりや世代間交流を促進する。さらに、回想法を提供する活動に団塊の世代等の地域住民が参加することにより、介護予防や生きがいづくりの機会とする。</p>
<p>内容</p>	<p>1 回想法講演会無料公開講座 (1回) 回想法リーダー養成講座 (4回) 会場：屏風ヶ浦ケアプラザ 参加者計 78名</p> <p>2 回想法講演会無料公開講座 (1回) 回想法リーダー養成講座 (3回) 会場：根岸ケアプラザ 参加者計 26名</p> <p>3 講座修了者による回想法の地域住民への提供 ① 有料老人ホーム「くらら磯子」(7回) 参加者計 約 35名 ② JOYくらぶ (3回) 参加者計 約 60名</p>
<p>効果</p>	<p>・回想法を地域住民に提供し、「元気が出た。」「大変な時期を乗り越えてきたから、これからも生きていけると思う。」等の声が聞かれた。地域の人々に対して、思い出を語ることが意識や行動の活性化に効果があり、さらに生きる力になることを伝えることができた。</p> <p>・連続講座を通して参加者相互のつながりが強化され、今後の地域活動における仲間作りにも効果が期待される。</p>

5 日本食で異文化交流 (実施団体：倶楽部V)

<p>目的</p>	<p>前年度に手がけた味噌と梅干しを使った弁当づくりを通じて、在留外国人が磯子になじむきっかけづくりを行う。</p>
<p>内容</p>	<p>1 秋の遠足のためのお弁当づくり 会場：根岸小学校クッキングルーム 参加者 9名</p> <p>2 EXPO手前味噌でオープンパーティ (前年度に手がけた味噌、梅干しを持ち寄った品評会を開催) 会場：根岸小学校クッキングルーム 参加者 40名</p> <p>3 国産大豆を使った味噌づくり 会場：根岸小学校クッキングルーム 参加者 15名</p> <p>4 メルビ先生のおき土産 (調理実習) 会場：屏風ヶ浦ケアプラザ 参加者 7名</p>
<p>効果</p>	<p>12月のオープンパーティなど、地域にも声をかけて交流の輪をより一層ひろげることができた。</p>

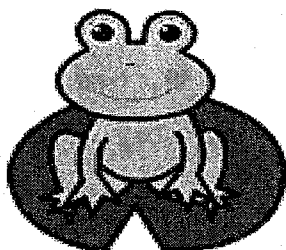
6 手作りおもちゃ講座 (実施団体：キラキラ)

目的	子育て中の母親が、講座への参加を通じて孤立せずに地域とのつながりを持つようになること。
内容	1 手作りおもちゃ講座 全7回 (紙皿作品、びっくり箱、布でつくるサッカーボール等) 会場：屏風ヶ浦地域ケアプラザ 参加者約10名 2 手作りおもちゃ講座 全4回 (紙皿作品、布でつくる魚等) 会場：新杉田地域ケアプラザ 参加者約10名
効果	保育付き講座としたこともあり、母親同士が安心して交流することができ、地域のつながりづくりのきっかけとすることができた。

# 平成20年度 磯子区地域福祉保健計画「スイッチON磯子」推進スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
<b>1 推進委員会</b> 計画全体の進行管理				●6/24第1回推進委員会 進捗状況報告 推進スケジュール確認					●第2回推進委員会 ・進捗状況報告			第3回推進委員会● ・計画推進状況の点検 ・次年度の進め方について
<b>2 地区別取り組み推進</b> 10地区(連町単位)で推進 ・地区別重点的取り組み・福祉保健の推進に資する活動 ・地域支えあい事業	●4/10正副会長会	●助成金申請		●助成金交付			地区毎に取り組み推進					
<b>3 あなたの提案実現事業</b> 区民・団体・事業者からの提案を募集し、実現に向けた取り組みを実施		→提案募集		●選定委員会 →事業決定・助成金交付					取り組み推進			
<b>4 しあわせバンク</b> 地域の人材、活動グループ、活動の場、活動内容などの情報を集約し、住民の誰もが共有する仕組みづくり										運用開始・広報実施		
<b>5 担い手育成支援講座</b> 「事業企画力アップ講座」「たまり場立ち上げ講座」の開催												
<b>6 地域活動充実に向けた基礎調査</b> 地域福祉活動の実態調査												
<b>7 広報・PR</b> 「まめ通信」の発行及び広報よこはま磯子区版・ホームページなどで広報												
<b>8 関連会議</b> (1) 地域福祉保健推進会議 (2) 区連合町内会長会 (3) 区民生委員児童委員協議会 (4) 保健活動推進委員会 (5) 区社会福祉協議会理事会等				●地域福祉保健推進会議								
	関連会議に適宜報告											

横浜市・区地域福祉計画ニュース 平成20年度 第1号 H20年6月

**第2期 ちいきふくしけいかく 策定開始!**

\*  
\* **第2期 横浜市地域福祉計画** \*

\* **策定・推進委員会 開催しました!** \*

横浜市では、平成16年5月に「横浜市地域福祉計画」を策定しました。

策定5年目にあたる今年度は、策定・推進委員会を開催し、第2期横浜市地域福祉計画を策定します。

現在の計画の実施状況を踏まえ、次期5か年の地域福祉推進の方向性や重点的に取り組むべき課題および具体策を検討します。

**計画策定スケジュール**

- 4月：委員会設置・分科会テーマ決定
- 5月：分科会設置・重点項目検討
- 7月：分科会中間報告・評価の方向性確定
- 9月：分科会まとめ・評価の確定
- 11月：計画素案検討
- 12月：計画素案確定
- 1月：市民意見募集
- 2月：市民意見の集約、計画への反映
- 3月：計画確定、区計画策定指針改定

- ☆ 同時並行で、区の代表が集まって区計画策定指針などについて検討する「区作業部会」と
- ★ 対象者別計画と地域福祉計画との関係性の整理や区を支援する局事業などについて検討する「局作業部会」を開催します。

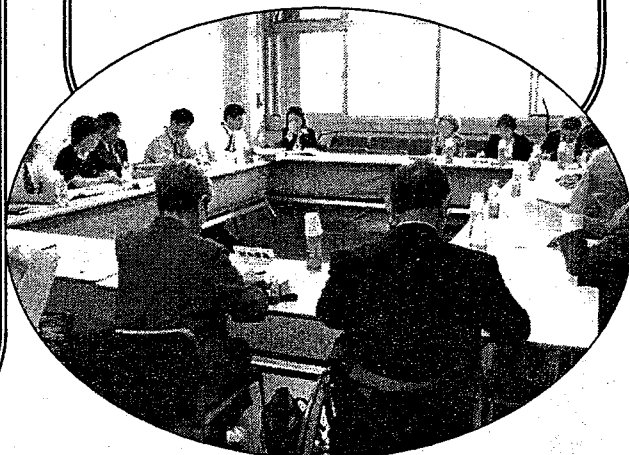
**2つの分科会を設置**

♪「**評価・推進分科会**」

- ➡ 様々な市民の参加促進や、地域活動の担い手の確保、地域・区の推進支援、わかりやすい計画とは、などについて検討します。  
(分科会長：立教大学コミュニティ福祉学部 森本佳樹教授)

♪「**小地域の支えあい分科会**」

- ➡ 要支援者の現状・課題の把握、既存の仕組みの活用策、活動の担い手の確保、支援を円滑にする方策、などについて検討します。  
(分科会長：法政大学法学部 名和田是彦教授)



## 第1回策定・推進委員会開催 4月21日(月)

第2期横浜市地域福祉計画策定の考え方について話し合いました。

- ◇ 委員会で検討していく事項として
- ・ わかりやすい推進・評価の仕組みづくり
  - ・ 既存の仕組みの活用策
  - ・ 小地域での市民力を発揮したつながりづくり
  - ・ 市が取り組むべき具体的推進策                      などを確認しました。

詳しくは、ホームページを見てね！

<http://www.city.yokohama.jp/me/fukushi/keikaku/index.html>

健康福祉局ホームページ→地域福祉→地域福祉計画

### 推進・評価分科会

<平成20年5月19日>

分科会の検討ポイントについて、意見交換をしました。

主な意見は以下のとおりです。

- 地域福祉計画と対象者別計画の関係を整理する必要がある(点と面の関係)。
- 市計画と区計画の関係、インフォーマルな地域支援にふさわしい規模(地域包括支援センターは3万人当たり1か所)、身近な顔見知りによる支援の範囲(身近すぎても敬遠される)など、エリアをどう捉えるか検討する必要がある。
- 地域の中で要支援者をどう把握するか考える必要がある。

### 小地域の支えあい分科会

<平成20年5月20日>

対象者別の課題資料を基に、意見交換を行いました。

主な意見は以下のとおりです。

- 地域の要支援者についての情報提供を検討する必要がある。
- 地域で要支援者に対する意識が育っていないが、話し合いに当事者を入れることで課題解決に近づく。
- これからの課題として、青少年の居場所づくりがある。
- 子育て支援などは、たまり場での相談でちょっとした問題は解決できる。このようなことは、専門知識がなくても地域でできる。

### 次回委員会のお知らせ

第2回 策定・推進委員会

7月23日(水) 13:30~16:00

市社協8階大会議室B

♪委員会は公開しています。

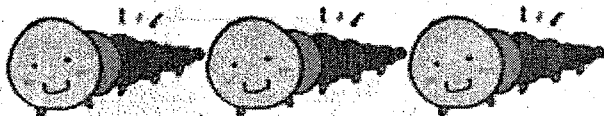
ご希望の方は事前に事務局にご連絡ください。♪

### 編集後記

知る人ぞ知る「はまレンジャーニュース」の改訂版発行です。市計画のことだけでなく、区や区社協の情報もお伝えしたいと思っています。

「はまレンジャー」のキャラクターは一部で人気があるみたいでしたが、せっかくの第2期計画なので、新しいキャラクターを募集します!!

これは!というキャラクターを思いついたら、7月20日までに下記発行元までご連絡ください。お待ちしております!



発行

健康福祉局福祉保健課 : [fu-chifukukeikaku@city.yokohama.jp](mailto:fu-chifukukeikaku@city.yokohama.jp)

TEL.671-3567

FAX.664-3622

市社協企画・IT等担当 : [kikaku@yokohamashakyo.jp](mailto:kikaku@yokohamashakyo.jp)

TEL.201-2090

FAX.201-8385